

令和6年度 1学年

各教科の学習内容と

その評価方法

江戸川区立小岩第三中学校

## <目次>

学習評価・評定について	P	1
国語	・・・・・・・・・・	P 2～4
数学	・・・・・・・・・・	P 5～9
社会	・・・・・・・・・・	P 10～11
理科	・・・・・・・・・・	P 12～13
英語	・・・・・・・・・・	P 14～15
音楽	・・・・・・・・・・	P 16～18
美術	・・・・・・・・・・	P 19～20
保健体育	・・・・・・・・・・	P 21～25
技術家庭科	・・・・・・・・・・	P 26～30

保護者様

江戸川区小岩第三中学校  
進路学習指導部

## 令和6年度 小岩第三中学校 評価・評定について

各教科担任は、年間指導計画を年度当初に立てて、その計画に基づいて授業計画を練り、学習指導を行います。そして、各生徒が教科担任の設定する学習目標に対し、どれくらい理解し、身につけているかを割合で評価します。その方法についてお知らせ致します。

## 【評価について】

各教科で単元ごとに目標を設定し、観点別に評価します。各教科で《知識・技能》《思考・判断・表現》《主体的に学習に取り組む態度》の3つの観点が設定されています。

それぞれの観点は、学期ごとに同じ比重で設定しています。学習目標に対する各生徒の到達度により、評価を付けます。その基準は、下の通りです。

評価	目標に対する到達度の割合
A：十分に満足できると判断されるもの	80% ～ 100%
B：おおむね満足できると判断されるもの	50% ～ 80%未満
C：努力を要すると判断されるもの	50%未満

## 【評定について】

単元ごとの観点別評価を総合して、各学期に下表の通り5段階の評定をします。

評定	目標に対する到達度の割合
5：十分満足でき、特に程度が高いもの	90% ～ 100%
4：十分に満足できると判断されるもの	80% ～ 90%未満
3：おおむね満足できると判断されるもの	50% ～ 80%未満
2：努力を要すると判断されるもの	20% ～ 50%未満
1：一層の努力を要すると判断されるもの	20%未満

## 《注意点》

- 観点別評価が、すべてAであっても評定が4になることがあります。(評価Aの基準は80%以上ですが、評定5の基準は90%以上であるためです。)
- 観点別評価が、すべてBである場合は必ず3になります。
- 観点別評価が、すべてCであっても評定は1と2の場合があります。

<評価・評定の例> ( )内の%は、到達度を表しています。

	Aさん		Bさん		Cさん	
	評価	評定	評価	評定	評価	評定
知識・技能	A(82%)	4 (82%)	A(97%)	5 (90%)	B(78%)	3 (78%)
思考・判断・表現	A(80%)		B(78%)			
主体的に学習に取り組む態度	A(84%)		A(95%)		B(77%)	

通知表は、生徒の学校生活の実態や成長の様子を保護者の皆さまにお伝えするものです。学校とご家庭とで、協力して継続的にお子さまの成長のために使う1つの参考資料となります。終業式の日配布されましたら、よくご覧いただき、学校での学習成果や生活について一緒に考え、お子さまのやる気を引き出すようご活用ください。

# 令和6年度 国語科年間指導計画及び評価 (1年)

担当 (相原 泰雅)

## 1 評価に関わる教科の基本方針

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを指導の重点に置く。

- 日々継続的に学習する習慣をつけさせるための生徒の取り組み (評価計画)

① 授業での取り組み

② 家庭学習の取り組み

③ 定期考査などへの取り組み

上記の三点について、以下の年間指導計画に基づき指導する。

各単元での学習内容を深め、適正に評価できるよう、評価規準を明確にする。

## 2 評価から評定への総括方法

観点	項目
知識・技能	・漢字テスト ・文法テスト ・毛筆、硬筆書写 ・定期考査 ・提出物の内容 ・故事成語 ・古典の暗唱 等
思考・判断・表現	・スピーチ ・討論 ・弁論 ・音読 ・聞き取りテスト ・発表に対する評価 ・発言内容 ・作文 ・課題文 ・感想文 ・要約 ・聞き取りメモの内容 ・発表原稿 ・内容理解 ・要点の抜き出し ・文章構造の理解 ・内容を理解した音読 ・定期考査 等
主体的に学習に取り組む態度	・発言内容 ・ノートの内容 ・宿題、提出物の提出状況および内容 ・授業内の課題やグループワークへの取り組み ・小テスト 等

## 3 年間指導計画および評価規準

学期	月	単元名	時数	学習活動	評価規準と評価の観点
1 学期	4	・授業開き	1	・授業の進め方、持ち物の確認、	【思判表】文章を読んで、自分の考えを確かなものになっている。 【思判表】場面の展開や心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 【思判表】日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討している。 【知技】単語の類別について理解している。
		・ふしぎ	1	評価方法の説明を受ける。 ・『ふしぎ』の魅力やおもしろさについて考え、発表し合う。	
		・桜蝶	4	・描写をもとに登場人物の相互関係や心情の変化を捉える。	
		・お気に入りの一品を紹介する	2	・ペアでスピーチを聞き合い、よかったところを伝え合う。	
		・言葉の単位	2	・教科書を読み、言葉の単位について理解する。	

	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の脳を知っていますか</li> <li>・資料から得た根拠をもとに意見文を書く</li> <li>・漢字の部首</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の中心的な部分に着目し、内容を捉える。</li> </ul>	【思判表】文章の中心と付加的な部分などについて要旨を把握している。
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の音声</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を比較して共通点と相違点を見つける。</li> </ul>	【思判表】段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を整理して説明する</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を読み、部首について理解する。</li> </ul>	【知技】学年別漢字配当表の漢字と、その他の常用漢字を読んでいる。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンチ</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の音の特徴を理解する。</li> </ul>	【知技】音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ては編集されている／写真で「事実」を表現する</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手がわかりやすいように、話す内容を整理して表現する。</li> </ul>	【思判表】相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・画数と活字の字体</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本や文章から情報を集め、作品の内容を表現する。</li> </ul>	【思判表】必要な情報に着目して要約したりして、内容を解釈している。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料を整理して案内文を書く</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を見るときの観点を知り、写真の特徴を理解する。</li> </ul>	【思判表】日常生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にしている。
2 学 期	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「エシカル」に生きよう</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を読み、画数と活字の字体について理解する。</li> </ul>	【知技】学年別漢字配当表の漢字と、その他の常用漢字を読んでいる。
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森には魔法つかい</li> <li>・文の成分</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図を意識して、案内文を書く。</li> </ul>	【思判表】日常生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にしている。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠を明確にして意見文を書く</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を読み、話し合い、自分の考えを書く。</li> </ul>	【思判表】話題や展開を捉えながら話し合い、考えをまとめている。
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告の情報を考える</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。</li> </ul>	【思判表】文章の構成や展開、表現の効果について、考えている。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔話と古典</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文の成分の役割について理解する。</li> </ul>	【知技】文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の始まり</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠をはっきりさせて、意見文を書く。</li> </ul>	【思判表】自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・故事成語</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて言葉と画像を組み合わせ、広告を作る。</li> </ul>	【思判表】日常生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にしている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・蜘蛛の糸</li> </ul>		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の仮名遣いにふれる。</li> </ul>	【思判表】場面の展開などについて、描写をもとに捉えている。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の始まり</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。</li> </ul>	【思判表】場面の展開などについて、描写をもとに捉えている。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・故事成語</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな故事成語について、由来や意味を理解する。</li> </ul>	【思判表】場面の展開やなどについて、描写をもとに捉えている。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・蜘蛛の糸</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品についてふれ、近代の小説</li> </ul>	【思判表】場面の展開などについて、

12	・河童と蛙	1	や物語を読む。 ・場面と描写を結びつけて読む。	描写をもとに捉えている。 【思判表】場面の展開などについて、描写をもとに捉えている。	
	・オツベルと象	7	・場面と描写に着目して作品を読み、内容を解釈する。	【思判表】文章の構成や展開、表現の効果について、考えている。	
	・随筆を書く	4	・身近に起きたことなどをまとめて、叙述の仕方を考える。	【思判表】表記や語句の用法などを確かめて、文章を整えている。	
	・日本語の文字	1	・日本語を書き表す文字の特徴を理解する。	【知技】学年別漢字配当表の漢字と、その他の常用漢字を読んでいる。	
	・子どもの権利	4	・自分の経験と関連づけて読み、自分の考えをまとめる。	【思判表】理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	
	・調べた内容を聞く	3	・相手の話を聞いて記録したりしながら内容を捉える。	【思判表】日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討している。	
	・漢字の音と訓	1	・漢字の音と訓についての理解を深める。	【知技】学年別漢字配当表の漢字と、その他の常用漢字を読んでいる。	
3 学 期	1	・地域から世界へ	5	・自分の考えをまとめ、理解を確かにする。	【思判表】文章の構成や展開、表現の効果について、考えている。
	2	・読み手を意識して 報告文を整える	4	・読み手の立場に立って、文章を整える。	【思判表】表記や語句の用法などを確かめて、文章を整えている。
		・単語のいろいろ	3	・単語の分類の基準について理解する。	【知技】指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。
		・発言を結びつけて 話し合う	4	・いろいろな意見を整理し、自分たちの感想や考えをまとめる。	【思判表】話題や展開を捉えながら話し合い、考えをまとめている。
	3	・漫画で「物語」を 表現する	2	・漫画の表現の特徴について理解する。	【思判表】目的に応じて必要な情報に着目して要約したりして、内容を解釈している。
		・熟語の構成	1	・熟語の構成の基本的な型を知る。	【知技】学年別漢字配当表の漢字と、その他の常用漢字を読んでいる。
	3	・四季の詩	2	・それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。	【思判表】表記や語句の用法などを確かめて、文章を整えている。
		・少年の日の思い出	7	・場面の展開や登場人物の心情の変化を、描写に基づきながら捉える。	【思判表】場面の展開や登場人物の相互関係などについて、描写をもとに捉えている。
		・方言と共通語	1	・方言と共通語の特徴について知る。	【知技】共通語と方言の果たす役割について理解している。

第1学年 数学 年間指導計画および評価規準

章	節	月	学習活動	評価基準
0章 算数から数学へ	1節 整数の性質	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>九九表のきまり</li> <li>自然数をいくつかの数の積で表す</li> <li>素因数分解の意味と方法</li> </ul>	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然数、素数、素因数分解の意味を理解している。</li> <li>素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。</li> </ul> <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだし表現することができる。</li> </ul> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだそうとしている。</li> </ul>
			<p>1節 正負の数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正負の数の必要性和意味</li> <li>正負の数で表された数量の意味</li> <li>正負の数を数直線上に表す</li> <li>正負の数の大小について、数直線や絶対値をもとにして考える</li> </ul>	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正負の数の必要性和意味を具体的な場面と結び付けて理解している。</li> <li>正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解している。</li> <li>正負の数の四則計算をすることができる。</li> <li>具体的な場面で正負の数を用いて表したり処理したりすることができる。</li> </ul> <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。</li> <li>正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現することができる。</li> </ul>
1章 正負の数	2節 加法と減法	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>正負の数の加法とその意味</li> <li>正負の数の加法の計算</li> <li>加法の交換法則と結合法則</li> <li>正負の数の減法とその意味</li> <li>正負の数の減法の計算</li> <li>正負の数の加法と減法が混じった式を、項の和とみなす</li> <li>正負の数の加法と減法が混じった式の計算</li> </ul>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正負の数の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
	3節 乗法と除法		<ul style="list-style-type: none"> <li>正負の数の乗法の意味</li> <li>正負の数の乗法の計算</li> <li>乗法の交換法則と結合法則</li> <li>累乗の意味と累乗の計算</li> <li>正負の数の除法の計算(乗法の逆算)</li> <li>正負の数の除法の計算(逆数の乗法)</li> <li>正負の数の四則の混じった計算</li> <li>正負の数の分配法則</li> <li>数の範囲</li> </ul>	
	4節 正負の数の利用	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>身長の平均をくふうして求める</li> <li>身のまわりの問題を、正負の数を利用して解く</li> </ul>	
	章の問題A	6		
2章 文	1節 文字を使った式	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>棒の本数と正方形の個数の関係</li> <li>文字を用いることの必要性和意味</li> <li>具体的な数量を、文字を使った式で表す</li> <li>文字式での積の表し方</li> <li>文字式での累乗や商の表し方</li> <li>単位をそろえる</li> <li>割合や速さに関する数量</li> <li><math>\pi</math>の意味と扱い方</li> <li>文字の代入と式の値</li> </ul>	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いることの必要性和意味を理解している。</li> <li>文字を用いた式における積や商の表し方を知っている。</li> <li>文字を用いた式の文字に数を代入して、その式の値を求めることができる。</li> <li>簡単な1次式の計算をすることができる。</li> <li>数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。</li> <li>数量の関係や法則などを、文字を用いた式を用いて表したり、読み取ったりすることができる。</li> </ul> <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。</li> <li>文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。</li> </ul>

字と式	2節 文字式の計算	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>棒の本数を求める式</li> <li>項と係数の意味</li> <li>1次式の加法や減法の計算</li> <li>1次式と数の乗法の計算</li> <li>1次式と数の除法の計算</li> </ul>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
	3節 文字式の利用	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いた式を活用して、立方体をつなげた棒の本数を求める</li> <li>いろいろな整数を、文字を用いた式で表したり、式が表す数を読み取ったりする</li> <li>等式、不等式の意味。数量の間の関係の表し方</li> </ul>	
	章の問題A	9		
3章 方程式	1節 方程式とその解き方	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>方程式の必要性</li> <li>方程式とその解の意味</li> <li>等式の性質</li> <li>移項の意味</li> <li>かっこや、係数に小数をふくむ方程式</li> <li>係数に分数をふくむ方程式</li> </ul>	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>方程式の必要性和意味を理解している。</li> <li>方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解している。</li> <li>等式の性質の意味を理解し、等式の性質を用いて方程式を解くことができる。</li> <li>移項の考えを用いて方程式を解くことができる。</li> <li>簡単な1次方程式、比例式を解くことができる。</li> <li>事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくることができる。</li> <li>1次方程式を用いて具体的な場面の問題解決を行うときの、解の吟味の意味と必要性を理解している。</li> </ul> <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>等式の性質をもとにして、1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。</li> <li>方程式において、移項できる理由を等式の性質をもとにして考察し表現することができる。</li> <li>具体的な場面の問題において、1次方程式を活用し、問題を解決することができる。</li> <li>具体的な場面の問題において、解を吟味して解答としてよいことを判断することができる。</li> </ul> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>方程式の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>正負の数や文字を使った式で学んだことを生かして、方程式を効率的に解く方法を検討している。</li> <li>方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
	2節 1次方程式の利用	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>方程式を利用するときの考え方や手順</li> <li>個数と代金に関する問題</li> <li>過不足に関する問題</li> <li>速さ・時間・道のりに関する問題</li> <li>比例式の性質</li> <li>比例式の性質を利用して問題を解く。</li> </ul>	
	章の問題A	10		
4章 比例	1節 関数と比例・反比例	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数の意味及び変域の意味と表し方</li> <li>関数の関係があるかどうかの判断</li> <li>身のまわりの問題を、関数の考えを利用して解決する</li> <li>比例、反比例の意味を理解し、それらの関係を式で表す</li> </ul>	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関数関係の意味を理解している。</li> <li>比例、反比例について理解している。</li> <li>比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。</li> </ul> <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>比例、反比例として捉えられる2つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。</li> <li>比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。</li> </ul>
	2節 比例の性質と調べ方		<ul style="list-style-type: none"> <li>比例の性質と負の数への広がり</li> <li>1組のx, yの値から、比例の式を求める</li> <li>座標の意味や点の位置の表し方、点の座標、座標を平面上の点で表す</li> </ul>	

2章 比例と反比例		<ul style="list-style-type: none"> <li>・比例のグラフの意味と特徴</li> <li>・xの値が増加するときのyの値の変化</li> <li>・比例のグラフのかき方</li> <li>・比例の表、式、グラフの関連性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
	3節 反比例の性質と調べ方	12 <ul style="list-style-type: none"> <li>・反比例の性質と負の数への広がり</li> <li>・1組のx, yの値から、反比例の式を求める</li> <li>・反比例のグラフの意味と特徴</li> <li>・反比例のグラフのかき方</li> <li>・反比例の値の変化の特徴</li> <li>・反比例の表、式、グラフの関連性</li> </ul>	
	4節 比例と反比例の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりの問題で、関数の関係にある数量を見出す</li> <li>・身のまわりの問題を、比例や反比例を利用して解決する</li> <li>・身のまわりの問題を、グラフを利用して解決する</li> </ul>	
	章の問題A	12	
5章 平面図形	1節 図形の移動	1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・しきつめ模様の特徴</li> <li>・平行移動の意味と性質</li> <li>・回転移動の意味と性質</li> <li>・対象移動の意味と性質</li> <li>・合同な図形の関係を、移動の見方で捉える</li> </ul>	知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。</li> <li>・平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。</li> <li>・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。</li> <li>・おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。</li> </ul> 思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の移動に着目し、2つの合同な図形の関係について考察し表現することができる。</li> <li>・線対称な図形の性質をもとにして、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。</li> <li>・図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul> 主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えたようにしている。</li> <li>・平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・図形の移動や基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</li> </ul>
	2節 基本の作図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作図における定規とコンパスの役割と使い方</li> <li>・交わる2つの円の性質</li> <li>・垂線の作図</li> <li>・垂直二等分線の作図</li> <li>・角の二等分線の作図</li> <li>・円の接線やいろいろな条件の作図</li> <li>・いろいろな角の作図</li> </ul>	
	3節 おうぎ形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おうぎ形の弧の長さや面積が中心角と比例すること</li> <li>・おうぎ形の弧の長さや面積の求め方</li> </ul>	
	章の問題A	1	
6章 空間図形	1節 いろいろな立体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりの立体</li> <li>・多面体と角錐や円錐の意味と特徴</li> <li>・正多面体の意味</li> </ul>	知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・空間における直線や平面の位置関係を理解している。</li> <li>・立体図形の展開図や投影図について理解している。</li> <li>・柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。</li> </ul> 思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> <li>・空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができる。</li> <li>・空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだすことができる。</li> <li>・立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。</li> </ul> 主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・空間図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えたようにしている。</li> <li>・空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> </ul>
	2節 立体の見方と調べ方	2 <ul style="list-style-type: none"> <li>・空間内にある平面が1つに決まる条件</li> <li>・空間内にある平面と平面、平面と直線、直線と直線の位置関係</li> <li>・空間内にある直線と平面の垂直、平面と平面のつくる角</li> <li>・角柱や円柱、円錐、球などを、平面図形の移動によってできた立体とみる</li> <li>・角柱、円柱の展開図とその特徴</li> <li>・角錐、円錐の展開図とその特徴</li> <li>・円錐の展開図で、側面になるおうぎ形</li> </ul>	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・投影図の意味、立体の投影図から、その立体を読み取る</li> </ul>	
	3節 立体の体積と表面積	<ul style="list-style-type: none"> <li>・角柱や円柱の体積</li> <li>・角錐や円錐の体積</li> <li>・角柱や円柱、円錐の表面積</li> <li>・球の体積や表面積</li> </ul>	
	章の問題A		
7章 データの分析と活用	1節 データの整理と分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の比較</li> <li>・データを度数分布表やヒストグラムに表し、分布の特徴を読み取る</li> <li>・相対度数の必要性和意味と、2つのデータの比較</li> <li>・代表値や範囲を用いてデータの傾向を読み取る</li> </ul>	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している。</li> <li>・累積度数、累積相対度数の必要性和意味を理解している。</li> <li>・代表値や範囲の必要性和意味を理解している。</li> <li>・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。</li> <li>・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。</li> </ul> <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。</li> <li>・多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。</li> </ul> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒストグラムや相対度数の必要性和意味を考えようとしている。</li> <li>・ヒストグラムや相対度数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> </ul>
	2節 データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えようとしている。</li> <li>・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。</li> </ul>
	3節 ことがらの起こりやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不確定な事象の起こりやすさを、その事象の起こる割合や試行の回数に着目して考える</li> <li>・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味</li> <li>・多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り説明する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> </ul>
	章の問題A		

# 令和6年度 第1学年 社会科 評価から評定への総括方法

担当：小野 陽祐

## 1. 評価に関わる教科指導の基本方針（評価計画）

- ・学習指導要領に基づいたカリキュラムを作成し、言語活動を積極的に取り入れる。
- ・個人で学習や作業に取り組むだけでなく、グループワークや意見の共有などによって、地理的分野と歴史的分野の基礎的な知識を身につけさせる。
- ・定期考査だけでなく、授業での課題へ取り組む姿勢、提出課題の状況および単元のまとめと振り返りを重視し、評価していく。
- ・年間を通して地理的分野と歴史的分野を交代して学習していく。
- ・タブレット端末、プロジェクタ等を利用した視聴覚教材を適宜活用していく。
- ・正しい情報を集めて調べる力、調べる力、発表する力をつける。

## 2. 評価の観点と評価方法

- ① 知識・技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

## 3. 評価から評定への総括方法の一覧表（各観点を総括して数値化し評価します）

評価方法	授業での取り組み				家庭学習の取り組み			考査などへの取り組み		評価のポイント
	ワークシート	作業・発言・協働	単元のまとめ	振り返り	提出課題・宿題	ワークシート	調べ学習	定期考査	ワーク	
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○	○	○		○	課題意識をもった学習への取り組み 修正する力
思考・判断・表現	○	○	○			○	○	○	○	論理的思考 発言・回答内容 作品の構成 応用力
知識・技能	○	○	○		○	○	○	○	○	創造性 適切な資料の活用 概念の理解 基礎的な知識

4. 令和6年度 第1学年 社会科 年間指導計画・評価規準

学期	月	時数	学習項目・内容	評価規準	評価の観点
1	4	7	《地理的分野》 第一部 世界と日本の地域構成 第一章 世界の姿 第二章 日本の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球上の大陸や大洋の名前を知る。</li> <li>世界の様々な国に対し、興味を持ち、大きさや形、大体の位置がわかる。</li> <li>地球儀の見方や様々な地図の図法を知り使いこなすことができる。</li> <li>気候帯の違いと、それに伴う食べ物や住居の違いについて理解している。</li> <li>雨温図を読みこなすことができる。実際に雨温図を作成することができる。</li> <li>世界各地の異なる衣食住の特色や宗教について整理して理解している。</li> <li>世界の地域の分類の仕方を理解する。</li> </ul>	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>
	5	12	第二部 世界のさまざまな地域 第一章 人々の生活と環境 第二章 世界の諸地域 アジア州		
	6	10	ヨーロッパ州 アフリカ州 定期考査		
	7	10	北アメリカ州 ☆世界の国調べ 夏休みの課題学習		
2	9	12	南アメリカ州 オセアニア州	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域の地形・地名を覚える。</li> <li>各地域の言語・民族・工業・農業などについて理解している。</li> <li>歴史とは何か、時代区分について知る。</li> <li>人類の進化の段階を理解している。</li> <li>縄文時代から弥生時代、古墳時代への国家形成の過程を史料から読み取る。</li> <li>中国大陸の文化の影響を受けながら律令国家から摂関政治へと展開していることを理解する。</li> </ul>	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>
	10	16	《歴史的分野》		
	11	17	第一章 歴史の捉え方調べ方 1 私たちと歴史 2 身近な地域の歴史		
	12	11	定期考査 第二章 原始・古代の日本と世界 1 人類の出現と文明のおこり 2 日本の成り立ちと倭の王権 3 大帝国の出現と律令国家の形成 4 貴族社会の発展 定期考査		
3	1	7	第三章 中世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉時代の武士の発生や民衆の動き、仏教や文化等を意欲的に学習している。</li> <li>鎌倉幕府の滅亡から室町幕府への移行期の新しい社会や文化の動きについて東アジア世界との関わりから考える。</li> </ul>	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>
	2	7	1 武家政治の始まり 2 ユーラシアの動きと武家政治の変化 3 結びつく民衆と下剋上の社会		
	3	5	定期考査		

1. 評価に関わる教科指導の基本方針および評価計画

- 基礎・基本の知識を確実に身に付けさせる。
- 興味・関心を高めるために、ICT機器を活用する。
- 実験・観察を多く取り入れ、探究的に授業を進めることにより興味や関心を高める。
- 日常生活で起こる事物・現象を科学的に考えられるように指導を心がける。
- 応用問題や学力検査問題に対応できるように発展的な指導を取り入れる。
- 三年後、都立高等学校入学者選抜学力検査問題に対応できる力を養えるように授業を進める。

2. 評価の3観点と評価方法

◎ 評価の3観点

- ①知識及び技能 …… 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ②思考、判断、表現……自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を科学的に探究する力を養う。
- ③主体的に学習に取り組む態度……自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。

◎ 評価から評定への総括方法

評価方法	授業の様子	実験・観察 レポート	定期テスト	小テスト	提出物
① 知識・技能		◎	◎	◎	
② 思考・判断・表現		◎	◎	◎	
③ 主体的に学習に取り組む生徒の姿	○	◎	◎	◎	○

【観点別評価】

- ①知識・技能      ②思考・判断・表現      ③主体的に学習に取り組む態度

学 期	月	学習項目・内容	評価規準
1	4 5 6	《1. いろいろな生物とその共通点》  1章 生物の観察と分類のしかた  2章 植物の分類  3章 動物の分類  『自由研究』	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭や学校周辺の生物に関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探究できる。(①②③)</li> <li>実験器具の使い方を習得するとともに、生物の調べ方の基礎を身に付けている。(①)</li> <li>身近な植物などについての観察、実験を通して、生物の調べ方の基礎を身に付けている。(①②③)</li> <li>植物や動物の特徴をとらえ、分類することで認識を深められる。(①②③)</li> <li>実験内容と方法を自ら設定し、確かめられる。(①②③)</li> </ul>
2	9 10 11 12	《2. 身のまわりの物質》  1章 身のまわりの物質とその性質  2章 気体の性質  3章 水溶液の性質  4章 物質の姿と状態変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの物質についての観察、実験を通して、固定や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解させるとともに、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身に付けている。(①②③)</li> </ul>
3	1 2 3	《3. 身のまわりの現象》  1章 光の世界  2章 音の世界  3章 力の世界  《一年間の総復習》	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な事物・現象についての観察、実験を通して、光や音の規則性、力の性質を理解する。(①②③)</li> <li>これらの事物・現象を日常生活や社会と関連付けて科学的に見る見方や考え方を養う。(②)</li> <li>まとめ学習を理解することができる。(①②③)</li> </ul>
1 ～ 3		《4. 大地の変化》  1章 火をふく大地  2章 動き続ける大地  3章 地層から読みとる大地の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>大地の活動の様子や身近な岩石、地層、地形などの観察を通して、地表に見られるさまざまな事物・現象を大地の変化と関連付けて理解し、大地の変化についての認識を深めている。(①②③)</li> </ul>

1. 評価にかかわる教科指導の評価方法  
 中学校3年間の学習を通して、「聞く」「話す」「書く」「読む」といったコミュニケーション能力の基礎の養成を目指します。

◎継続的に勉強する習慣をつけさせるための生徒の取り組み (評価計画)

- ①授業での取り組み
  - ②小テスト・定期テストなどの取り組み
  - ③宿題・提出物など家庭学習の取り組み
- これらを各観点に照らして評価します。

2. 評価から評定への総括方法

◎評価の3観点

- ①知識・技能
- ②思考・判断・表現
- ③主体的に学習に取り組む態度

◎評価から評定への総括方法一覧表 (○がついている方法で評価します)

評価方法	授業での取り組み					テストへの取り組み			提出物など家庭学習への取り組み		
	発言・発表	教科書の読み	活動	聴く姿勢	コミュニケーションをとる態度	定期考査	小テスト	リスニングテスト	宿題	ワーク	ノート
知識・技能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
思考・判断・表現	○	○	○	○	○	○	○	○			
主体的に学習に取り組む態度	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○

【具体的な指導のポイント】

- 〔授業への取り組み〕
- ・意欲的に発言したり発表しているか。また書こうとしているか。
  - ・教科書の本文を場面、心情を踏まえて音読できるか。
  - ・ノートを工夫してとっているか。
  - ・話を熱心に聞いて理解しようとしているか。
  - ・意欲的に話し合い活動に参加しているか。

- 〔提出物の取り組み〕
- ・意欲的に提出しているか。
  - ・自主的に学習しているか。

- 〔テスト等の取り組み〕
- ・語彙、文法を理解し身につけているか。
  - ・長めの文を読み、内容を理解しているか。
  - ・英文を聴いて、内容を理解しているか。
  - ・指示に従い意欲的に英文を書くことができるか。
  - ・小テスト等に意欲的に取り組んでいるか。

年間指導計画表および評価規準 <1年>

学期・月		題材内容	評価規準
1 学 期	4	Get Ready Do you ~?/Can you~?/I want to be~. I'm~. You're~. I(don't)like~. I can't~. I want to go to~. When/Where の疑問文 アルファベットの形と発音 辞書の引き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の自己紹介や人物の情報を聞き取り理解することができる。自己紹介カードを作成することができる。(知・技)</li> <li>意欲的に相手とやり取りしたり、自分のことについて表現しようとしている。(思・判・表・主)</li> <li>アルファベットの形・つづり・発音を理解する。</li> <li>意欲的に辞書を引き、調べようとする。(主)</li> <li>be 動詞の用法を理解し、自己紹介できる。(知・技)</li> <li>where の用法を理解し表現することができる。(知・技)</li> </ul>
	5	I'm Ben. I'm not Ami. Are you from~? Where are you from? 一般動詞(肯定/否定/疑問)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の内容を理解し、場面心情を踏まえて音読できる。(思・判・表)</li> <li>意欲的に相手のことや自分のことについて表現する。(主)</li> <li>命令文の表現を理解し、正確に聞き取ったり、やり取りができる。(知・技)</li> </ul>
	6	命令文(Play baseball. Don't~.) can(肯定/否定/疑問) what の疑問文	<ul style="list-style-type: none"> <li>can, what の用法を理解し、何ができるか伝え合うことができる。(知・技)</li> <li>本文の内容を理解し、場面心情を踏まえて音読できる。(思・判・表)</li> <li>意欲的に相手のことや自分のことについて表現する。(主)</li> </ul>
	7	自己紹介(スピーチ) This is ~. That is ~. (肯定/否定/疑問) who の疑問文 which/whose の疑問文	<ul style="list-style-type: none"> <li>This(That/It)の用法を理解する。(知・技)</li> <li>who の疑問文や人称代名詞の用法を理解し、絵の中の人物について表現できる。(知・技)</li> <li>本文の内容を理解し、場面心情を踏まえて音読できる。(思・判・表)</li> </ul>
2 学 期	9	3人称・単数・現在(肯定/否定/疑問) 季節と月の名前	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に登場人物の紹介文を書いたり、友達を紹介する。(主)</li> <li>季節や月の名前の言い方を理解し、やり取りできる。(知・技)(主)</li> </ul>
	10	him, her / why の疑問文, Because の用法 Where is~?/Turn right, and~など 店内放送を聞く 順番・日付の言い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>him, her の用法, why の疑問文, because の用法を理解し、好きなものについて表現できる。(知・技)(思・判・表)</li> <li>道案内の表現を理解する。(知・技)</li> <li>役に分かれて意欲的にやりとりしようとする。(主)</li> <li>放送を聞いて内容を理解し、意欲的に日付・誕生日についてやり取りしようとする。(知・技)(主)</li> </ul>
	11	There is (are) ~. /how の疑問文 スピーチの構成 これまでの復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>There is (are)~の用法/ how の疑問文の用法を理解し、自分の住む地域にあるものを表現できる。(知・技)</li> <li>本文を理解し、場面、心情をふまえた音読ができる。(思・判・表)</li> <li>あるトピックについて意欲的に自分の考えを表現する。(主)</li> <li>既習の表現を使い、やり取りできる。まとまった英文が書ける。(知・技)</li> </ul>
	12	現在進行形 インフォメーションギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真などを見せながら、自分の紹介したい人を意欲的に紹介する。友達のスピーチを聞いて即興でやりとりする。(主)</li> <li>現在進行形(肯定・否定・疑問)の用法を理解し、表現できる。(知・技)</li> <li>本文を理解し、場面・心情を踏まえ音読できる。(思・判・表)</li> </ul>
3 学 期	1	一般動詞の過去形(肯定・疑問・否定) be 動詞の過去形(肯定・疑問・否定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的にショートスキットを作る。(主)</li> <li>一般動詞の過去形を理解し、過去について表現できる。(知・技)</li> </ul>
	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を理解し、場面、心情をふまえた音読ができる。(思・判・表)</li> <li>過去について感想意見を、意欲的に表現する。(主)</li> <li>既習の英文を聞いたり読んだりして、内容を理解する。(知・技)</li> </ul>
	3	これまでの復習 手紙の書き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や絵について即興で話す。絵はがきを書く。(思・判・表)</li> <li>意欲的にスピーチをしたり、絵はがきを書こうとする。(主)</li> </ul>

# 令和6年度 音楽科 評価方法（第1学年）

## 1. 教科の方針

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。授業の発表の場として、合唱コンクールで音楽表現をする。合唱曲の歌詞の内容や曲想を感じ取り、その楽曲ふさわしい表現を工夫することで言語活動の充実を深める。

## 2. 評価計画

- ・主体的、対話的で深い学びの視点から点数だけでない部分の評価を重視し、表現する楽しさや喜びに結びつける。
- ・授業態度（表現する意欲）やノート（プリント）などの提出物を重視し評価していく。
- ・歌唱や実技テストを定期的に行い、定期考査と同等に評価する。
- ・年間を通して、歌唱、器楽、鑑賞、創作など、幅広い音楽活動を通して評価する。

## 3. 評価の観点と評価方法

- ①知識・技能（知識・技能は分けて審査）
- ②思考・判断・表現
- ③主体的に学習に取り組む態度

・評価から評定への総括方法

評価項目 評価の観点	定期考査	実技テスト 【項目は下記】	授業の様子	ワーク シート
① 知識・技能	○	○		○
②思考・判断・表現	○	○	○	○
③主体的に学習に 取り組む態度		○	○	○

\*実技テスト評価項目

- ①正しい発声，奏法で演奏できているか（技）
- ② 音程，リズムが正しくとれているか（技）
- ③ 曲にふさわしい表現や響きを追及して表現豊かに演奏できているか（思・判）
- ④ 真剣な態度でテストに臨んでいるか（態）

令和6年度 1学年 年間指導計画

1年生	月	単元	学習活動	評価規準
1 学 期	4	行事への取り組み① 混声合唱に親しもう 【歌唱】	歌唱に積極的に取り組む姿勢をつくる。 「校歌」「青空へのぼろう」「大切なもの」	【態】（共通）意欲的に取り組んでいるか。 【知・思】形式や曲想を理解し歌っているか。 【技】無理のない発声、正しい音程、リズムで歌っているか。 【知】読譜が正しくできるか。
		階名読みに慣れよう	大譜表を理解して階名読みを学ぶ	【知】読譜が正しくできるか。
	5	日本の音楽に親しもう 【歌唱】	旋律の美しさを味わう。 「夏の思い出」「赤とんぼ」	【思】曲の形式を理解し、日本語の響きを生かしながら美しい音色を求めて歌っているか。
		和楽器を演奏しよう 【箏 和器楽】	箏の奏法を知り「さくら」など簡単な曲を演奏する。	【技】正しい奏法で演奏できているか。
	6	和楽器の響きに親しもう 【鑑賞】	箏曲を味わう。「六段」	【思・判】用いられる音階や曲の構成など特徴を聞き取ろう
		合唱コンクールの選曲	クラスの雰囲気を考えて選曲する。	【知・思】 曲の内容や強弱などを考え鑑賞、選択できたか。
	7	情景を想像しよう 【鑑賞】	曲の背景や曲想の関わりを感じとり、その良さを味わう。ヴィジュアルデイ「春」	【知・思】楽曲や作曲者について理解し味わって豊かな表現を鑑賞できたか。
	アルトリコーダーの奏法 【器楽】	基礎的な奏法を理解し、簡単な楽曲に取り組む	【技】正しい奏法で演奏できるか。  【態】（共通）意欲的に演奏しているか。	

2 学 期	9 10	行事への取り組み② 【歌唱】	歌詞の内容や曲想、全体の響きなど感じとって曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 (合唱コンクール)	【知・技】 楽譜の諸記号を理解し表現を工夫しているか。
	11	アルトリコーダーの響きを味わう【器楽】	美しい音や表現を工夫しながら演奏する。	【技】 正しい奏法で演奏できるか。 【思】 美しい音色に気を付けて演奏しているか
	12	情景を想像しよう 【鑑賞】	曲の背景や曲想の関わりを感じとり、その良さを味わう。 「魔王」	【思】 表現方法を生かして演奏に生かすことができるか。 【知・思】 楽曲のや作曲者について理解し味わって鑑賞できたか。
3 学 期	1	社会と音楽のかかわり 【鑑賞】	音楽の多様性を感じ取ってそのよさや美しさを味わう。「世界の音楽」	【態】 (共通) 意欲的に取り組んでいるか。 【知・思】 我が国やアジア地域の多様で豊かな声による表現を鑑賞できたか。
	2	曲をつくろう 【創作】	言葉の抑揚を生かして簡単なリズムや旋律で楽曲を完成させる。	【知】 言葉の抑揚やリズムの仕組みを理解し、楽曲を完成させているか。
	3	行事への取り組み③ 【歌唱】	曲想を感じ取り、声部の役割や全体の響きを感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫しながら演奏する。	【思】 表現記号に留意し、正しい方を工夫しているか。 【知・技】 正しい音程で歌えているか。言葉をはっきり歌っているか。

# 令和6年度 美術科 評価から評定への総括方法

## 美術科 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

感じ取ったことや考えたことなどを基に表現する活動と伝える、使うなどの目的や機能を考えた表現する機能を経験させる。

## 評価の観点およびその趣旨

	全学年
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。制作における材料や用具の生かし方や見通しを持って表そうとしている。
思考・ 判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に 取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身に付けるために、主体的に学習に取り組もうとする。制作の為に事前に制作資料などの準備をしている。

## 評価から評定への総括方法 (全学年共通)

評価項目 観点	授業態度 (振り返りカード、 聴く態度、質疑等)	アイデアスケッチ (制作過程の 工夫・試行)	ワークシート レポート	作品	定期 テスト
知識・技能		○	○	○	○
思考・ 判断・表現	○	○	○	○	○
主体的に学習に 取り組む態度	○	○	○	○	

令和6年度 美術 1年 年間指導計画および評価基準

- 【知】 知識・技能
- 【思】 思考・判断・表現
- 【態】 主体的な学習態度

	月	単元	学習活動	評価規準
1 学 期	4	・レタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える</li> <li>・明朝体で「永」を描く</li> <li>・スケッチブック表紙に明朝体で記名する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知】 明朝体の特徴を理解して制作している</li> <li>【思】 制作の順序など考えながら見直しをもって表している</li> <li>【態】 書体などの伝達表現に関心を持ち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫を感じ取ったりしようとしている</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩の基礎知識</li> <li>・絵の具の使い方</li> <li>・12色相環を作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色の三要素、色料と色光の3原色</li> <li>・色彩の基礎知識～12色相環をつくる</li> <li>・水彩絵の具の種類と使い方、混色方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知】 工夫して混色表現ができている</li> <li>【思】 様々な塗り方を試し、意欲的に取り組もうとしている</li> <li>【態】 色の特徴を知り、意欲に授業に取り込もうとしている</li> </ul>
	6	・絵文字	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字からイメージを広げ、絵とレタリングの文字を組み合わせてデザインする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知】 表現したいことのイメージを持ちながら、制作の順序などを考え創意工夫して表現している。</li> <li>【思】 わかりやすさや美しさなどを考え、イメージが伝わるよう象徴するものなどを用いている。形や色彩の効果を生かして表現の構想を練っている。</li> <li>【態】 主体的に想像し表現の工夫などを感じ取ろうとしている。アイデアを伝え合い共有しようとしている。</li> </ul>
	7			
2 学 期	8			
	9	・お面づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喜怒哀楽の表情の変化を観察して描く</li> <li>・自己の内面のイメージを反映させてアイデアスケッチをする</li> <li>・仮面芯に立体的に粘土をつけ、着彩する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知】 形や色を工夫して表現している 自分の想いや考えをもって味わっている</li> <li>【思】 自己の内面を考えて主題を生み出し作品に表現しようとしている</li> <li>【態】 表現を観察し、感情を表現する方法を試行錯誤している</li> </ul>
	10			
	11			
3 学 期	12	・ポスターの歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界、日本のポスターの歴史、著名な画家の学習</li> <li>・メッセージやイメージを伝えるための工夫について考える。</li> <li>・ポスターでも使われるモダンテクニックを体験する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知】 モダンテクニックの技法を理解している</li> <li>【思】 作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</li> <li>【態】 街中にあるポスターの特徴や表現方法について深く学ぼうとしている</li> </ul>
	1			
	2			
	3			

# 令和6年度 保健体育科 評価方法

教科担当：金子

## 1. 評価に関わる教科指導の基本方針（評価計画）

- ・ 学習指導要領に基づいたカリキュラムを作成し、言語活動を積極的に取り入れる。
- ・ 各分野、種目の基礎的な知識を身につけさせる。
- ・ 授業態度や授業プリントなどの提出物を重視し、評価していく。また小テストなどを通じて、基礎的な知識を定着させる。
- ・ 年間を通して体育分野と保健分野を学習していく。
- ・ ICT を多用し、視聴覚教材をできるだけ活用していく。
- ・ 主体的な発表授業を通じて、調べる力、発表する力をつける。

## 2. 評価の観点と評価方法

- ① 知識及び技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

## 3. 評価から評定への総括方法の一覧表（各観点を総括して数値化し評価します）

評価方法	授業での取り組み					実技への取り組み			テストなどへの取り組み				評価のポイント
	見学・欠席等	態度	言語活動	ワークシート	安全に留意する姿勢	運動技能の向上	課題の達成	協働活動	ルールの理解	運動特性の理解	教科書や実技書の理解	生活・健康・安全への理解	
(ア) 知識及び技能			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	①ルールや技能のポイントを理解している ②各種目の技能を習得している。 ③生活、健康、安全について理解している
(イ) 思考・判断・表現		○	○	○	○	○	○	○		○		○	①課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組みを工夫している。 ②自分の考えを他者に伝えることができる。 ③仲間と教え合い、チームやペアとのかかわり方を見つけている。 ④安全上の留意点を他の学習場に当てはめている。
(ウ) 主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	①欠席、見学、忘れ物がない。 ②正しい服装をしている。 ③運動や健康に対する興味関心が高く、積極的に取り組んでいる。 ④公正な態度で授業に取り組んでいる。 ⑤自身の学習を深めようとしている。

#### 4. 令和6年度 保健体育科 年間指導計画

学期	月	週	1年			2年			3年			
			1	2	3	1	2	3	1	2	3	
1	4	1	集団行動・体づくり運動(3)			集団行動・体づくり運動(3)			集団行動・体づくり運動(3)			
		2	陸上競技(9)			陸上競技(9)			陸上競技(9)			
		3	短距離走	保健(2) ①②		短距離走	保健(2) ①②		短距離走	保健(2) ①②		
		4	リレー			リレー			リレー			
		5		体育理論(1)			体育理論(1)			体育理論(1)		
		6	陸上競技(7) (運動会練習)			陸上競技(7) (運動会練習)			陸上競技(7) (運動会練習)			
		7										
	6	8	スポーツテスト ・体づくり(5)		保健(3) ③④⑤		スポーツテスト ・体づくり(5)		保健(3) ③④⑤		保健(3) ③④	
		9							スポーツ テスト・ 体づくり(4)			
		10										
		11			定期考査				定期考査		球技(10) バスケットボール	
		12	球技(9) ハンドボール				陸上競技(8) ハードル走				定期考査	
		13										
2	9	14	水泳(11)			水泳(11)			水泳(10)			
		15										
		16										
		17										
	10	18	陸上競技(9) ハードル走・走り幅跳び		保健(5) ⑥⑦ ⑧⑨⑩		器械体操(9) マット運動		保健(6) ⑥⑦⑧ ⑨⑩⑪		武道(9) 柔道	
		19									保健(4) ⑤⑥⑦ ⑧⑨	
		20										
		21										
		22									体育理論(1)	
	11	23	武道(7) 柔道		定期考査		球技(8) サッカー		定期考査		球技(10) バレーボール	
		24			体育理論(1)				体育理論(1)		定期考査	
		25										
12	26	器械運動(7) マット運動				武道(7) 柔道				陸上競技(6) ハードル走		
	27											
3	1	28	陸上競技(6) 持久走		保健(5) ⑪⑫ ⑬⑭⑮		陸上競技(6) 持久走		保健(5) ⑫⑬ ⑭⑮⑯		陸上競技(6) 持久走	
		29									保健(4) ⑩⑪ ⑫⑬	
		30										
	2	31	球技(8) サッカー		保健(5) ⑪⑫ ⑬⑭⑮		陸上競技(8) バスケットボール		保健(5) ⑫⑬ ⑭⑮⑯		陸上競技(9) 走り幅跳び・走り高跳び	
		32										
		33			体育理論(1)				体育理論(1)			
		34			定期考査				定期考査			
	3	35	ダンス(6)				ダンス(6)				球技(6) (球技大会)	
		36										

## 5. 令和6年度 第1学年 保健体育科 評価規準

### 1. 陸上競技

#### ○知識・技能

- ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。
- ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めることができる。
- ・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。
- ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。
- ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。

#### ○思考・判断・表現

- ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。

#### ○主体的に学習に取り組む態度

- ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。

### 2. 水泳

#### ○知識・技能

- ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。
- ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。
- ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。
- ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。
- ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。
- ・複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすることができる。

#### ○思考・判断・表現

- ・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。

#### ○主体的に学習に取り組む態度

- ・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。

### 3. 球技

#### ○知識・技能

- ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。
- ・ゴール型（サッカー）では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。
- ・ネット型（バレーボール）では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。

- ・ベースボール型（ソフトボール）では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。

○思考・判断・表現

- ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。

#### 4. 武道

○知識・技能

- ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。
- ・柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。

○思考・判断・表現

- ・攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。

- 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。

#### 5. 体育理論

○知識

- ・文化としてのスポーツの意義について理解している。

○思考・判断・表現

- ・文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。

#### 6. 保健

○知識・技能

- ・健康な生活と疾病の予防、健康と環境について、個人生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。

○思考・判断・表現

- ・健康な生活と疾病の予防、健康と環境について、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・健康な生活と疾病の予防、健康と環境について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。

評価計画

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点

観点	評価の観点の趣旨
知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

評価から評定への総括方法

(学期ごとに○がついている方法から選択し評価します。)

	授業での取り組み					定期考査等	
	聞く姿勢	プリント	用具等の取り扱い	作品製作の過程	作品	定期考査	課題・宿題等 レポート
知識・技能			○	○	○	○	○
思考・判断・表現		○	○	○	○	○	○
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○		

1 学年 年間指導計画および評価規準 (計 35 時間)

学期	月	単元名	時数	指導内容	評価規準	
1	4	A 家族・家庭生活 (1) 自分の成長と家族・家庭生活	1	・家庭分野科のガイダンス	小学校の学習を振り返り、中学校3年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。〈主〉	
	5	食生活と栄養	4	中学生に必要な栄養素 バランス良い食事について考えよう	1日に必要な食品の種類と概量について関心を持ち、意欲的に調べようとしている。不足している食品群を補うような1日分の献立を考え、工夫できる 〈主・知・技・思・判・表〉	
		献立作り	7	給食献立を考えよう	栄養素の特徴を踏まえ、バランスの良い給食献立を作成する。摂取量の目安に近づくよう工夫している。〈知・技・主〉	
	6					
	7	生活を豊かにするために	7	生活に役立つものを作る 基本縫い、ほころび直しの方法	より生活を豊かにするために、製作の技能を身につけている。〈工夫/技能〉 衣服の補修の目的と布地に適した方法について理解し、実践することができる。〈知・技〉	
	2	9				
		10	食品選択	6	食品の保存と食中毒の防止について考えよう 調理の計画 基本的な調理技能を身に付ける	食品の安全性に関する問題などに興味をもち、自分の食生活での課題解決を考え工夫している。〈主・思・判・表〉 食品の保存方法や食中毒の防止について理解している 〈知〉
		日常食の調理	4	生鮮食品と加工食品の特徴を知ろう 食品の選択と購入について考えよう	日常食の調理に関心を持ち、調理技術を習得しようとしている。 〈主・知・技〉	
11						
12				肉の調理 魚の調理	食品や調理用具の安全と衛生に留意して調理操作ができる。〈知・技・思・判・表〉 調理に必要な手順や時間を考えて作業や工夫ができる。〈思・判・表・主〉	
3	1	行事と食文化	3	日本の食文化 食料の大切さを知る	生鮮食品、加工食品の特徴について理解している。〈知・主〉	
	2				生地域や季節の行事食の調理、文化に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。〈主・知〉	
	3	家族・家庭生活	2	家族を支える社会		